

にしながらお小学校だより

050-7102-9176（平日のみ 電話受付：8時30分～17時）



8月は平和について考えるとともに
夏休みをすごす月

8号／令和8年8月6日／児童数336名

教育理念

学校教育目標

めざす子ども像

研究テーマ

いのちをまもり いのちをはぐくみ いのちをつなぐ

ともに学び合い、自ら考え行動し、思いやりをもって、仲間とより良い授業を創造し続ける子どもの育成

1. 心豊かな子ども（自他を大切にする、思いやりのある子ども）

2. 深く考える子ども（自ら学び、考えて行動できる子ども）

3. 健康で明るい子ども（きまりや約束を守りよく遊び、困難なことも最後までやり抜くための体力・気力をもった子ども）

読むって楽しい！伝えるっておもしろい！～説明文から広がる学びの力～

西長尾7つの力を礎に「自制心・忍耐力・向上心・自尊心・協調・受容・共感・相互理解」

一人ひとりの行動と力で「平和」をつくっていきましょう

8月6日は広島に原子爆弾が世界ではじめて投下された日。そして、広島平和記念式典では毎年、「平和宣言」、「平和への誓い」などが読み上げられます。

6日の「私たちには、広島のかこもとして、行動する責任があります。」という誓いの言葉から、私達も原子爆弾を投下された日本の西長尾小学校の子どもとして行動できることを考えていきます。まさしく、平和への思いを、自分なりの方法で表現することにつながります。誓いにもあるように、一人一人の小さな行動が、平和への後押しとなります。また、「平和とは、誰かからあたえられるものでなく、世界中の人々で創り上げるものです。」との誓いの言葉を胸に本校でも一人ひとりの行動と力で平和をつくる学び方を探究します。

毎日、夏休みを過ごしていると思います。今日の夏休みも、実は、日本の誰かがどこかで築き上げ続けてきたからこそ、平和に過ごせているのだと思います。

皆さん一人ひとりが、今、それぞれに持っていたり、考えていたりする「大切なもの」って何ですか？その「大切なもの」を未来に引き継ぐためにはどうすれば良いのか、考え続け、そして行動し続けていきましょう。

松井広島市長の「平和宣言」では、若い世代へのメッセージがありました。「価値観の異なる人々との国境を越えた交流を深めてください。そうすることで、嬉しさや楽しさ、夢や希望を共有することができます。既に世界の多くの若者が、広島を始め様々な場で被爆の実相を学び、交流を深めています。」とありました。今年度、国語科の授業において『自分の思いや考えを誰かに伝えたり、誰かと伝えあったりすることを楽しむ』という子どもの姿をめざして取り組んでいます。この取り組みが、平和を築くための基礎であり、土台であり、子ども達が平和に向かって行動できる一歩だと思うのです。松井広島市長の発言のように学年・学校を超えて他校、他国の子ども達とも交流できる機会を楽しみにしています。

改めて、学校での日々の取組みを大切にしながら、子ども達が大人になって平和な世界の作り手になることができるようにご家庭、地域のご支援をよろしくお願いいたします。

【参考文献】

広島市 hp「平和への誓い」 <https://www.city.hiroshima.lg.jp/education/kyouiku-suishin/1026024/1008989.html>

広島市 hp「平和宣言」 <https://www.city.hiroshima.lg.jp/atomicbomb-peace/1036662/1003065/1015114.html>

広島県 hp「広島県知事あいさつ」 <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hiroshimaforpeace/message-from-governor-20260806.html>

首相官邸 <https://www.kantei.go.jp/jp/105/statement/2026/0806hiroshima.html>

国際連合 https://www.unic.or.jp/news_press/messages_speeches/sg/54846/